

し 志 ぶ 志



市議会だより

No.34

2014. 8.12 発行

ドリームサッカー



6月
定例会

一般会計補正予算	3
議会インターネット録画中継配信スタート	4
子ども医療費を18歳まで無料化	6
11議員が一般質問	8



6月定例会

平成26年 第2回定例会

平成26年6月定例会を6月9日から30日までの22日間開きました。
 一般会計・特別会計(国民宿舎)の補正予算など議案5件を審査しました。
 一般会計補正予算は8億6208万6千円を追加し、総額で189億6208万6千円となり原案どおり可決しました。
 また、志布志市税条例の一部改正や志布志市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正は可決しました。
 一般質問は11名の議員が施政方針、環境行政、教育行政、観光行政などについてたどしました。

条例

**志布志市国民健康保険税
条例の一部改正**

本会議での質疑応答

Q 国民健康保険課税世帯のうち7割、5割、2割の軽減世帯の数は。

A 7割軽減世帯2724世帯、5割軽減世帯464世帯、2割軽減世帯は913世帯、合計で4101世帯が軽減対象である。

本会議での討論

〈反対討論〉

○市は市民の負担軽減のために全力を尽くす必要があり、国に対してもしっかりとものを言うべきである。住民の立場に立つと課税限度額の引き上げは認められない。

小園義行議員

志布志市税条例等の一部改正

本会議での質疑応答

委員会での質疑応答は5頁

Q 軽自動車税等の引き上げで、どれくらいの影響を推測しているのか。
A 今回の改正に伴い軽自動車等の現在の台数で試算すると約592万円の増となる見込みである。

(全会一致で可決)

人権擁護委員の推薦について

中西浩二氏
 (松山町尾野見)

福留道子氏
 (有明町野神)

中西浩二氏、福留道子氏の任期満了に伴う再推薦の提案があり適任と決定しました。

陳情

・大隅の自然を生かした大隅自然ミュージアム及び有害鳥獣対策特区申請に向けた取り組みに関する陳情書は継続審査となりました。

議員表彰

全国市議会議長会より、永年勤続議員として3名が表彰され、6月定例会で、表彰状の伝達が行われました。

議長・副議長表彰

上村環 議長
 林勇作 前副議長

15年以上表彰
 小園義行 議員

※表彰規定により町議の年数は1/2で換算



6月補正予算

8億6208万6千円を追加

予算総額は189億6208万6千円に

一般会計補正予算第1号の主な内容

今回の補正予算は、新規普通建設事業及び政策的な経費を中心に歳入歳出8億6208万6千円を追加し、予算総額を189億6208万6千円と定めるものです。

補正予算の主なものは、対象者を中学生までから高校生世代まで拡大し、子育て支援の充実を図る「子ども医療費助成」、公営住宅ストック計画の活用手法に基づく住宅の整備を図る「公営住宅ストック活用事業」と既存耐火住宅の個別改善整備を図る「公営住宅ストック改善事業」、競技力の向上とスポーツ合宿への積極的対応を図る「有明野球場ブルペン改修事業」などです。

子ども医療費助成事業 1050万円

子ども医療費無料化の対象者を、中学生までから高校生世代までに拡大し、子育て支援の充実を図る。

15歳 → **18歳**
(平成26年10月診療分から)

定住促進住宅用地整備事業 1028万円

新たに定住促進住宅用地を購入し整備を行い、また、なのはな団地の水路用途廃止に伴う分合筆を行い、分譲促進を図る。

茶レンジ風邪なし運動事業 776万円

インフルエンザ対策をはじめ、フッ素成分による虫歯予防など将来にわたる健康づくりと、お茶文化を未来に継承する。



茶レンジ風邪なし運動

環境負荷低減・先進的技術導入支援事業 765万円

燃油価格の高騰が農業経営を圧迫しているなか、限りあるエネルギー資源の有効活用を図り、地球温暖化や環境汚染対策、低炭素社会の実現などを視野に入れた農業を推進するため、環境負荷を低減する生産体制への転換を図る。

有明野球場ブルペン改修等事業 1540万円

有明野球場のブルペン・練習用備品を整備し、競技力の向上とスポーツ合宿への積極的対応を図る。



(改修後イメージ)

有明野球場

住宅リフォーム助成事業 1000万円

個人住宅のリフォーム工事に助成することにより、市内産業の活性化を図る（市内登録店に限る）。

公営住宅ストック活用事業（宮脇団地建替） 1億9538万円

公営住宅ストック計画の活用手法に基づき、計画的な現代ニーズにあった安心安全に暮らせる住宅の整備を図る。

公営住宅ストック改善事業（蓬原団地等） 1億5278万円

公営住宅ストック計画の活用手法に基づき、既存耐火住宅の機能向上に伴う個別改善整備を図る。



有明中学校

Q 有明地区の中学校の統合問題については、志布志中学校の状況を見ながら検討するという説明をされてきた。市民に対しての説明責任があると思うがどうか。

A 有明地区については、それぞれの地区に中学校が必要だという意見が多かった。保護者の方々の統合に向けての機運が熟していない。

**有明地区の
中学校統合問題は**

各委員会での質疑応答は5頁から

本会議での質疑応答

一般会計
補正予算(第1号)



保育園のようす

Q 有明野球場のスコアボードを電光掲示板に改修する計画はないのか。

**有明野球場に
電光掲示板の設置は**

Q 保育士の処遇改善について、各保育所からは処遇改善の報告書は提出されているのか。また、実績はどうか。

A 保育所職員処遇改善実績報告書が市内15保育所すべてから提出されている。平成25年度実績として月額6787円改善されている。

保育士の処遇改善は

Q 電光掲示板本体のみで約4000万円、これに電気工事、外構工事、撤去費用等を含めると約1億円が事業費として必要である。

A 電光掲示板本体のみで約4000万円、これに電気工事、外構工事、撤去費用等を含めると約1億円が事業費として必要である。



有明野球場のスコアボード

7月9日(水)
東京都日野市議会
・リサイクルについて

7月25日(金)
徳島県徳島市議会
・「道の駅松山」について

他市町村からの行政視察

議会インターネット録画中継配信が始まりました。

市ホームページのトップページのここをクリックするとご覧いただけます。

ホームページアドレス
<http://www.city.shibushi.lg.jp/>

平成26年6月定例会より、議会中継のインターネット録画中継配信を始めました。本会議中の生中継のほか、録画中継も配信しています。録画中継はいつでもご覧いただけますので、ぜひご活用ください。議会インターネット中継は、市ホームページからアクセスいただけます。
※録画中継の映像配信は、本会議の概ね3日以内に配信されます。

JR志布志駅舎を観光拠点施設に整備

総務委員会

一般会計補正予算

(企画政策課)

Q 定住しようとしても適当な宅地がなく、地元以外に住宅や宅地を求めざるを得ない状況がある。市が率先して土地を探すことも必要ではないか。

A まとまった土地があり、宅地造成できるかがポイントになる。空き家バンクの活用や土地開発公社にも協力をお願いしたい。

Q 松山町泰野に定住促進住宅用地として購入予定の土地は農業振興

地域ではないのか。
A 畑地ではあるが、農業振興地域の指定はされていない。

(港湾商工課)

Q JR志布志駅舎の整備計画は隣接する土地まで含めての計画になるのか。

A 隣接する土地開発公社の土地まで含めて計画する。長期的展望で市の顔となるような施設とし、観光客のおもてなしと市民が交流できる場となるように整備したい。

Q リフォーム事業の所管が変わったのはなぜか。また、補助は3年間で終わりが。



定住促進住宅用地 (松山町泰野)



JR志布志駅舎

A 経済対策の観点から港湾商工課に所管変更となった。新たな補助金は、終期を3年と設定し、必要であれば、事業内容を見直し、新たに終期を設定していくという補助金の指針がある。その指針に基づき事業を実施したい。

(財務課)

Q 市の施設については、長寿命化を図るため、定期的なメンテナンスが必要ではないか。

A 市の施設が全体で913カ所あるが、固定資産台帳を3年かけて整備して、全庁的に施設の改修等の計画をしていく。

(総務課)

Q 消防車両の購入にあたっては分団員の要望を聞いているのか。

A 消防車両については、耐用年数を基準に更新している。更新にあたっては、幹部会や分団員の意見を聞きながら整備していく。

国民宿舎特別会計

補正予算

(港湾商工課)

Q 施設の耐用年数や経年劣化の確認はしているのか。

A 今後、修繕計画に基づき、指定管理者と協議し、実施していきたい。

志布志市税条例等の一部を改正

原付、軽二輪、小型二輪は、平成27年度分から税率を約1.5倍(最低2000円)に引き上げる。軽自動車税は、平成27年度の新規検査分から①に改正。また、新規検査から13年を経過した翌年度から②に改正となる。(左表参照)

単位：円

車種区分		現行	①	②
三輪		3,100	3,900	4,600
四輪以上	乗用			
	自家用	7,200	10,800	12,900
	営業用	5,500	6,900	8,200
貨物	自家用	4,000	5,000	6,000
	営業用	3,000	3,800	4,500

法人税等は法律の改正にあわせての改正。

Q 市民への周知はどのように行うのか。

A 今年度中に市報やホームページ、チラシなどで周知していく。

子ども医療費を18歳まで無料化

文教厚生委員会



しぐし子どもフェスティバル

志布志市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正

更なる子どもに係る医療費の負担軽減を図るために子どもの定義に関する規定を改める。

Q 子ども医療費助成について、所得制限は設けないと理解しているのか。

A 所得制限は設けていない。

Q 子ども医療費とひとり親家庭の医療費はどちらが優先されるのか。

A ひとり親については子どもの医療費も含め、親の医療費もあるため他法優先でひとり親家庭の医療費が優先になる。

一般会計補正予算

(市民環境課)

Q 墓地水道使用料は基補助で提案されているが、全額補助についての検討はしなかったのか。

A 市が行っている類似の補助事業、例えば街灯の電気代の補助についても基本料金の2分の1を補助していることもあり、基本料金の2分の1補助となった。

(福祉課)

Q 保育士等処遇改善臨時特例事業については、法人から市役所に報告があると思うが、実際に保育士の処遇が良くなっていると理解しているのか。

A 各保育園で金額は違うが実績が報告されている。

(保健課)

Q 健康づくり推進員は何人に委嘱しているのか。

A 健康づくり推進員として委嘱している

は89人であるが、平成26年度から健康づくり推進員と以前までの介護予防サポーターと統合し、現在130人の方が推進員として活動している。

(生涯学習課)

Q 有明野球場の利用団体と年間の利用状況は。

A 平成25年度の実績で年間104団体、785人が140日程度利用している。利用団体は地元の少年野球チーム、中学校の野球部、志布志高校・尚志館高校の野球部で、スポーツ合宿として関西大学・同志社大学が2回、昨年度から韓国のヨンセ大学が合宿を行っている。

(教育総務課・学校教育課)

Q 「確かな学力の向上に向けた検討委員会設立」と小中一貫教育と関連があるのか。

A 検討委員会で議論する中で学力の向上に向けて小中一貫を導入する必要があれば検討していくということ、小中一貫教育ありきではない。



有明野球場でキャンプをおこなったヨンセ大学

Q ここ数年間、定例教育委員会で、本市の子どもたちの学力向上のための方策について、これまでどれくらいの議論があったのか。

A 定例教育委員会で正式な議題として協議したことはないが、随時学力の実態を報告したり、学校運営報告会で各学校から聞き取りをし理解を図っている。

市長・教育長への総括質疑

(教育総務課・学校教育課)

Q 教育委員を含め教育委員会の議論が足りないのではないかと。学力向上推進には大いに賛成だが、もっと教育委員会で議論してから提案すべきではないか。

A 教育委員会でも引き続きしっかり議論をすることとし、先進地研修等のための費用として。先進地の様子を見届け、子どもたちの学力向上のために使いたい。「検討委員会」については、十分検討のうえ時期を見て設立していきたいと考えている。

集落道整備を大幅に拡充

産業建設委員会



肆部合地区

Q 肆部合地区の現段階での同意率は何%か。
A 仮同意の段階だが、25年度末で、97・9%である。

Q 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業となっているが、採択要件はどのようなものか。
A 面積要件は、5ha以上であり、今回の地区は、17・7haということとクリアしている。活性化についても、農地集積を推進し、100%に近い同意を目指して取り組みたい。

土地改良事業の
施行について



セリ市のような

Q 曾於地域内用牛災害事故共助負担金により、市場内の事故に対し補償することは生産者、購買者にとって安心だと思ふ。事故対象判断はどうなっているのか。
A さまざまな事故が想定される。査定委員会や共済獣医師等の診断等、総合的に判断し、慎重な協議が必要であると思ふ。

Q 自宅から市場間の事故については補償されないということだが、最も多いのではないか。
A 最初の国・県の説明会では、区域内の遊休農地解消は、義務的要件ではなかったが、会計検査が入り、必須事項に変わった。その後、鹿児島

一般会計補正予算
(畜産課)

Q 運搬中の事故は、件数も多いし、原因もはっきりしない例が多い。関係機関と協議のうえ、今回の事故共助からは除いた。
A 運搬中の事故は、件数も多いし、原因もはっきりしない例が多い。関係機関と協議のうえ、今回の事故共助からは除いた。

Q 農地・水保全管理支払交付金事業だが、途中で内容が頻繁に変わった。今回の返還の要因となる事項についての説明はどうだったのか。また、雑入で計上されている返還金の内容は。
A 最初の国・県の説明会では、区域内の遊休農地解消は、義務的要件ではなかったが、会計検査が入り、必須事項に変わった。その後、鹿児島

Q 茶機能実証委員会の成はどのように考えているのか。
A 鹿兒島大学医学部、鹿兒島女子短期大学と業務提携を結び、お

Q 茶の効能・効果について実証し、進行管理をする。委員構成は、行政、農協、茶業振興会及び生産者を考えている。
A 市単独道路維持事業は、集落からの要望も多いと思ふ。少しでも多くの要望に応えるべきだと思ふが。



道路改良される志布志地区の馬見ヶ塚

Q 市単独道路維持事業は、集落からの要望も多いと思ふ。少しでも多くの要望に応えるべきだと思ふが。
A 特に、志布志地区は未着工の要望箇所が多い。今回、財務課とも協議し、起債事業を活用し解消を図った。各地区の要望採択分について、一部測量等調査のみの部分もあるが、ほとんどの路線について本年度着工見込みとなった。



小 辻 議員

田之浦中・出水中跡地の利活用は

▼跡地等利活用検討委員会で協議

小辻一海議員 旧田之浦中学校・旧出水中学校は平成26年4月1日から閉校となったが、跡地の利活用については地域に何も見えてこない。現時点での取り組み状況を示せ。

市長 両中学校の閉校後学校跡地等利活用検討委員会を2回、政策調整会議を1回、それぞれ開催し、今後の利活用について調査検討を行った。今後は、早急に地域住民との対話を交えて、地域活性化に結び付けられるよう跡地利活用に努めたい。

備品等の活用策は

問 両中学校の備品、付属設備の活用策は。



地域活性化が期待される旧田之浦中学校

市内各学校・公民館へ備品等を譲与
教育長 市内各学校に希望する備品等を移転し、移転先が決まらないものは、両中学校の公民館へ希望に応じて譲与したい。

問 校長・教頭住宅を一般住宅として利用できないか。

教員住宅を一般住宅へ

一般住宅へ活用を検討
教育長 教職員住宅については、小学校が残っているの、地域の活性化につながるような活用策を考えていきたい。

教育総務課長 教職員住宅は色々な制限があるが、一般住宅として使えるよう事務処理をしていく。

休校中の四浦小学校は

問 休校中の四浦小学校は、開校の見通しがあるのか今後の考えを示せ。

閉校へ向け地元と具体的に協議

市長 昨年3月の四浦校区公民館総会で、閉校やむなしという結論に至った。閉校になっても地域の要望に十分応えられるよう対応していきたい。

教育長 今年度より、具体的なことを地元と協議していきたい。

減少しないポイ捨てにどう取り組むか

問 不法投棄やポイ捨てが依然として減少していない状況をどう認識し、どのように取り組むのか。

落ちていたら拾うという意識改革に取り組む

市長 確かに厳しい状況であるが、間違いなく減少してきている。今後は、マイロードクリーン作戦に多くの市民に参加してもらい、ごみが落ちていたら拾うということや道路の土手などの草払いをしていくことを推進し、不法投棄やポイ捨てに対する意識改革に取り組んでいく。



改善されないポイ捨ての現状

大きな看板設置で周知を

問 ポイ捨て条例制定の看板が小さいが、大きな看板を設置して周知する考えはないか。

改善を図っていく

市長 現場を確認しながら改善を図っていく。

防犯協会へポイ捨て抑止活動の協力を

問 防犯協会へ所属する各団体へ犯罪の抑止活動と併せ、不法投棄やポイ捨て抑止活動の協力をお願いする考えはないか。

お願いしていく

市長 防犯協会の会長をしているのでお願いしていく。

高齢者のごみ出し負担感の対策をどう考えるか

問 高齢者等のごみ出しに負担感が増しているとの声を聞くが対策をどう考えるか。

自助・共助の取り組みを推進する

市長 自分でできることは自分ですするという自助と、隣近所、地域ぐるみで支え合い助け合う共助を基本的な取り組みとして推進していく。



野村 議員

茶業振興対策を急げ

▶お茶のさらなる消費拡大を図る



茶レンジ風邪なし運動

野村広志議員 昨今の茶業を取り巻く環境は、ここ数年、大変に厳しさを増しており、お茶の更なる消費拡大が喫緊の課題である。本市では、茶機能実証事業の結果を踏まえ検証されたが、その効果と今後の方針を示せ。

市長 一日お茶プラス6杯運動の取り組みにより、動脈硬化数値^{*}、LH比が1.5以上のグループにおいて、改善が認識された。本年度は血中カテキニン濃度とコレステロール値を測定検証しお茶と健康の関係を実証していく。更なるお茶の消費拡大につなげていきたい。

風邪なし運動の効果は

問 茶レンジ風邪なし運動について、実施概要とその効果を示せ。

市長 市内全小中学校23校、2917名、教職員302名にて実施した。風邪予防や健康への意識向上などの効果があったと考えている。マイボトル持参率の向上が今後の課題であり、学校・保護者と連携して茶機能の理解を求め、持参飲用の向上を図っていく。

給茶器の活用を

問 鹿児島のおもてなし文化で、「茶いっぺ」の教えを、学校設備である給茶器を活用し、子どもたちにお茶を飲用する習慣を定着させてはどうか。

校長研修会等で指導する

教育長 食育という立場でも、子どもたちが給茶器を使用し、お茶を自ら

飲めるよう校長研修会等で更なる利用を進めるよう指導していく。

志ブランド更なる充実を

問 ブランド推進を更に充実発展させるため、各課横断的に練られる政策の一元管理を図り、敏速かつ柔軟な政策実現の必要性があるのではないか。

取り組みを指示する

市長 ブランド推進室の役割を各課理解し、連携した取り組みをしている。今後も日本一になる政策目標を掲げ努力するよう、取り組みを指示している。

世界農業遺産（FAO）への取り組みは

問 農作物のブランド化を図る上で有利になることが期待される世界農業遺産認定をきっかけに、志ブランド確立へのステップになるのではないか。

申請する内容を作り出す

申請する内容を作り出す

市長 ブランドの認知度を高め、その先に世界農業遺産につながると思う。申請できる内容を見だし、作り出して行くことが第一である。

雇用・定住化人口の試算は

問 臨海工業団地（仮称）開発事業に伴う、雇用人口と定住化人口の試算は。

100名程度を想定

市長 新規5社200名の雇用が想定される。うち、市内進出企業従業員の約半数が市内雇用のため、およそ100名程度市外からの雇用が想定される。定住化に向けて取り組みたい。

地域おこし協力隊活用を

問 地域おこし協力隊を活用して、地域活性化並びに定住化推進を図っていく考えはないか。

導入を検討したい

市長 若者定住化対策より、地域活性化政策の観

点で、全ての部署において有効活用できる部分はないか、今後調査研究をし、本市においても、ぜひ導入を検討したい。

火災防火活動中の保険加入は

問 地域消防・自衛消防の火災防火活動中における保険加入は。

全国町村会総合賠償補償保険制度の対象となる

市長 市町村加入の全国町村会総合賠償補償保険制度の対象となる。

団員の特定健診推進は

問 団員の特定健診の受診を積極的に推進する考えはないか。

受診率向上を特に進める

市長 消防団員の特定健診の受診率向上については特に進める。

※LH比

LDL(悪玉コレステロール)とHDL(善玉コレステロール)の割合。



長岡 議員

中学校の跡地利用は

▼地域活性化に結びつく跡地利用に努める

長岡耕二議員 今春、統合された旧出水中と旧田之浦中の跡地利用をどのように進めていくのか。

市長 志布志市立学校跡地等利活用検討委員会の

規定に基づき、2回の検討委員会と1回の政策調整会議を開き、検討、調査を行った。

地域の意見をどうやって汲み上げていくか

問 地域の意見を取り入れてほしいとの願いがあるが、どのような形で汲み上げて行くのか。

組織づくりを進めたい

市長 地域活性化に結びつけられる跡地等利活用ができるよう、早急に地域住民との対話を交え、地域の意見の集約に努めたい。

今後の進め方は

問 八野小学校は公募の形をとったが今回はどのような形で進めるのか。

検討委員会を立ち上げる

市長 地元の意見をまとめるため、検討委員会を組織化して立ち上げ、そ

の上で有効な活用策が見いだせば活用していきたい。ない場合は公募による検討も考えている。

水道事業の進捗状況は

問 前回の質問で、水道事業だけでは限界があるので、いろいろ検討したいとの答弁だったが、その後の進捗状況はどうか。

協議を重ね

説明会を行っている

市長 県と水道未普及地域解消に対する国庫補助事業の可否を含め協議を重ねながら、田床集落、柳井谷集落の地元代表者への説明会を行っている。

時間がかかり過ぎでは

問 これまで3回程質問したが、検討していくという回答だけで前に進ん



地下水を使用している家庭

でない。時間がかかり過ぎる気がするが現況はどうなっているのか。

同意書徴集を

9月までに行う

市長 担当の水道課ではその都度地元で地域に赴き検討を重ねている。説

明会では、水道管敷設事業を実施するための前提条件として、全世帯加入と戸別負担金の概算額を提示した。事業に向けて同意書の徴集を本年9月までに行う予定である。



検討委員会で跡地利用が協議される旧出水中学校



青山 議員

県下一周駅伝大会の沿道応援を全ての児童・生徒に

▶ 学校から要望があれば対応する



県下一周駅伝を沿道で応援する生徒

青山浩二議員 県下一周駅伝大会において、近年、曾於チームの成績が低迷している。市として何か強化策は考えてないか。

市長 常にAクラス入りや優勝を争うチーム作りのため、中学生・ジュニア層の育成強化を陸上協会や関係団体と連携していく。

有望選手の採用を

問 市役所や市内の企業に働きかけ、有望選手の採用をしてみているか。

スポーツ・学業ともに優秀であれば採用していく

市長 市役所については、現在スポーツの特別採用枠は設けていないが、今後、スポーツ・学業ともに優秀な場合には積極的に採用していく。企業については、一部の企業において、積極的に採用しているところもある。

全ての児童・生徒に 応援の機会を

問 現在、市内の小中学校の沿道応援はコース沿

いの学校しか実施していない。バス等を利用して、駅伝大会を市内すべての学校が応援できる体制を作ることはできないか。

要望があれば対応する

教育長 現在は1校だけバスを利用して沿道応援を実施している。多くの児童・生徒にこういう体験をさせていくのは素晴らしいことだと思う。他の学校から要望があればできるだけ対応していく。

管理体制の見直しを

問 しおかぜ公園は、12月から翌年3月までは芝の養生期間のため使用禁止となっている。1年間を通して使用できるような管理方法を取り入れることはできないか。

冬芝導入を進めていく

生涯学習課長 冬時期にも使用できる冬芝の導入を進めていく。



鹿児島国体サッカー競技会場となるしおかぜ公園

国体へ向けての 整備計画は

問 2020年・鹿児島国体でサッカー競技がしおかぜ公園で開催されるが、施設面の整備計画はあるのか。

国・県と協議していく

市長 平成26年度に中央競技団体の視察がある。会場全体の計画、芝や観客席等について今後どのように整備していくかを国・県と協議していく。

小中一貫教育は

問 3月議会の所信表明で、小中一貫教育の導入を述べたが、対象地域はどこか。

今後、方向性を定める

市長 今後、確かな学力の定着に向けた検討委員会を設置し、この中で十分検討を重ね、方向性を定めていく。

アンケート実施の考えは

問 地域の意見を取り入れるために、アンケートを実施できないか。

検討委員会の中で 方向性ができれば実施

市長 検討委員会の中で、アンケートをとるとう方向性ができれば実施する。
教育長 地域住民の意見を求めてやっていくことになる。その時には、アンケート等を実施する。



八代 議員

林業振興を図れ

▼まずは市有林から

八代 誠議員 戦後、本市において管理及び整備された市有林に眠る資産はどれくらいになるのか。面積及び試算額を示せ。

市長 市有林の面積は、人工林が457.47ha、広葉樹林が323.43haの合計781.9haを保有管理している。金額に換算すると人工林で6億8730万円となる。この貴重な財産を有効活用するために、人工林について森林簿を整備し年次的に伐採、造林を実施していく。

問 衰退している本市の林業資本に対する安定した雇用の拡大は期待できるのか。

安定した雇用が発生する



伐倒期を迎えた市有林

市長 伐採・再造林・枝打ち、間伐という一連の作業が繰り返されることにより、長期の安定した雇用が発生する。また、道路網の整備や運送業に関わる他産業への波及効果も期待される。

問 間伐材及び現地に破壊される枝葉の再利用は考えられないか。

間伐材の再利用は

市長 鹿児島市内の業者が木質バイオマス発電施設の立地を希望している。一般家庭が使用する約2万世帯分の発電規模である。この施設全体で25名の新規雇用も見込める。志布志港という木材輸出日本一の施設を有利に活用し、曾於地区森林組合と連携し本市林業が潤うよう林業振興に努力する。

林業振興に努力する

学校給食の現状
規模・管理体制は

問 松山センター、有明センターの規模、能力を示せ。

適正な管理運営に努める

教育長 松山センターは小学校3校、中学校1校に406食、有明センターでは幼稚園1園、小学校13校、中学校4校に2614食を調理し配送している。人員配置及び管理体制については、文部科学省の規定及び本市の学校給食センター運営規定に基づき、安心安全な給食提供ができるよう適正な管理運営に努めている。

アレルギー対策は

問 アレルギー対策についての対応は。

安心・安全な給食を提供

教育長 平成26年度においては対象者が34名いる。給食センター、学校、保護者が緊密に連携し、不慮の事故が起こらないよう安心・安全な給食を提供している。

処置や訓練等は十分か

問 食物に対して過度に反応し、アナフィラキシーショックに陥る児童生徒に対する処置、訓練等は十分実施されているか。

マニュアルを作成し対応

教育長 管理職研修会や保健主任研修会において実践的な研修を実施している。学校においては職員役割分担、薬剤使用方法などを示したマニュアルを作成し体制を整えている。

学校給食の経費体系は

問 学校給食に関わる経費体系を示せ。

保護者負担分は材料費

教育長 保護者負担分は給食に使用する材料費約1億3900万円である。職員の人件費、センターの修繕費や燃料代、配送業務の約1億2800万円は、市が負担している。

未納への対策は

問 年々増加傾向にある給食費未納額を地区別に示せ。また、未納をなくするための対策は。

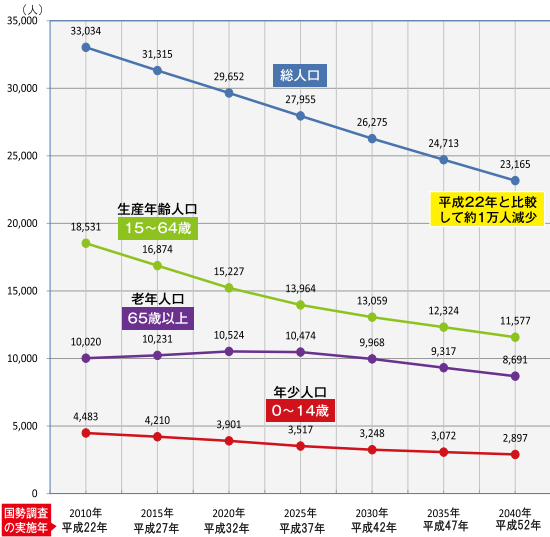
一体となり解消に努める

教育長 直近3カ年の未納額は、有明地区が124万円、志布志地区が114万円、松山地区はゼロである。栄養バランスのとれた安定した給食の提供ができるよう、未納の現状を的確に把握し、学校だけでなくPTA、給食センターが一体となり未納解消に努める。



人口減少対策を図れ

▶ これまで以上に重点的に取り組む



平成22年から平成52年/志布志市人口推移 (日本の地域別将来推計人口に基づく推移)

市長 少子高齢化と、現在の大都市への一極集中がそのまま続けば、本市においては、深刻な状況になることを改めて認識させられ、大変な危機感を持った。人口減少対策については、これまで

小野広嗣議員 本年5月に日本創成会議が2040年に若年女性の割合が半減し、消滅する可能性が高い自治体が896自治体にのぼるとの試算を発表した。人口減少社会が直面する現実を浮き彫りにした今回の試算を、どのように受け止めたのか。

市長 人口減少、そして

協議の場を前向きに作る

チームを庁内横断的に設置している。それがまだ本市はできていない。まずそこから始めなければならぬのではないかと。

問 人口減少対策に取り組んでいる先進自治体では、人口減少対策推進本部を設置し、さらに下部組織としてプロジェクト

人口減少対策本部やプロジェクトチームの設置を

上に重点的に取り組む必要があると感じた。

市長 地方公共団体においても速やかに国土強靱化地域計画を策定し、地域を含めた関係者が総力を挙げて取り組み、国と地方が一体となって強靱化の取り組みを推進するよう求められている。本市でも重要課題として捉

重要課題として取り組む

問 昨年12月、「防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が成立した。そこには地方公共団体などに対し、計画策定や施策についてその責務が明記されている。災害から生命を守る本市の計画策定をどのように考えているのか。

防災・減災計画の策定を

目標をしっかりと設定することになると、現在捉えているので、協議の場は、今後前向きに作る。

市長 現在、イベントの災害事故に対して、安全

安全指針の整備を図る

問 お釈迦まつり、みなとまつり、やっちく秋の陣まつり、ふるさとまつりは、それぞれに実施主体が違いますが、安全指針は、市で作成しているのか。

イベント時の安全対策は

市長 危機管理についての重要性は高まってきていると思う。専門的な部署を設置することについては、検討する。

専門的部署の設置を検討

あるいは防災対策室の設置が必要ではないか。

管理マニュアルは、作成していない。今後、想定外の事故、災害等にも対応できるようにイベント安全管理マニュアルを志布志市観光振興連絡会で検討する。

読書貯金通帳の導入を

問 読書貯金通帳を作成して、それを乳幼児から子ども、市民まで配布をしている自治体が増えていく。お金の場合は貯金しても増えたり減ったりするが、これは必ず増え続ける、一生の宝、心の財産になる。読書貯金通帳の導入の考えはないか。また、図書館の活字本を増やすべきではないか。

非常に面白い試みと思う

教育長 読書通帳という形で読書記録を残すというのは、今、初めて知った形に残っていくと、自分を振り返る財産になる気がして、非常におもしろい試みと思う。大活字本も、今後、蔵書を増やしていく方向で検討する。



玉垣 議員

都城志布志道路完成後の沿線地域の開発計画は

▼現在のところ白紙

状況に応じて検討したい
市長 施設の老朽化や部品交換が困難になってきたことから、昨年度からデジタル化に取り組んでいる。難聴地域解消対策として、新たに海岸沿いや山間部に5カ所整備する予定で、状況に応じてスピーカーの増設も検討したい。

玉垣大二郎議員 都城志布志道路の工事も着々と進み完成が期待される。地元説明会で示された代替道路の建設計画の進捗と完成後のこの地域の開発計画は。

市長 周辺地区の交通対策を検討した。県と連携して周辺道路の整備に取り組んでいく。今後の開発については白紙であるが、総合的な土地利用を考慮しての構想が必要と考える。

建設課長 志布志IC沿線の道路整備を今年から始めている。代替道路についても、国の補助をもらい、早急に計画を立てて着工していきたい。

市道や生活道路の整備計画は

問 町原地域では地区を



建設中の都城志布志道路

横断する新たな市道の建設や、昔ながらの生活道路の拡幅・舗装等整備を望まれているが、計画できないか。

今後の課題

市長 この地区の開発は道路だけの計画では不十分で、上水道、排水路等

も含めた総合的なまちづくりを考慮した開発が進められるべきだと考える。この地域全体を考慮した計画で今後の課題と考える。

避難階段の建設は

問 若浜、松波、稚子松地域の避難所は中宮跨道

橋であり、地域からの移動には遠回りになることも想定される。近くには大型スーパーもあり多くの買い物客の避難も予想される。この人達の避難時間や経路を短縮するためにも国道から稚子松跨道橋への避難階段の建設はできないか。

本年度着手予定

市長 稚子松跨道橋付近には商業施設や学校など、緊急時には多くの人を避難させる必要があるため、単独事業500万円を計上し、避難道路の指定がされている市道若浜宮前線へ階段建設を計画し、本年度着手の予定である。

防災無線難聴地区の解消は

問 先日実施された総合防災訓練で、防災行政無

線の音が聞き取りにくいとの指摘があった。今後計画するデジタル化への改修時に、再調査を実施し、スピーカーの向きや増設等検討し、難聴地区の解消に努めるべきではないか。



稚子松跨道橋に建設される階段 (イメージ)



メリケントキンソウ駆除へ取り組みを

▶ 対策協議会を設置し進める



報告会で早期発見・駆除を呼びかけるチーム MKT

平野 栄作 議員 外来植物のメリケントキンソウの繁殖が確認されている。インターネットで調べるとその繁殖域は国内の広範囲に及び、どの自治体でも対策に手をやいている。志布志市で、いち早くこの駆除を進めるために立ち上がったのが、子どもたちで結成しているチーム MKT である。この取り組みは全国的にも珍しく、駆除ボランティアに加えて啓発活動も行い「自分たちの遊び場は自分たちで守る」と、日々活動に取り組んでいる。この活動をどのように評価しているか。

市長 泰野子どもエコクラブ MKT の児童による駆除活動が新聞に掲載された際には、すばらしい活動が展開されていると認識した。彼らの志を大切にしていきたいと考えている。

教育長 すごく問題意識をもって子どもたちだけだということを感じた。また、自分たちのことだけにでなく、周りのために何ができるのかという視点で取り組もうとしているその姿に感動した。この取り組みが市内全域に広がる状況をつくり、教育委員会としても支援をしていきたいと思う。

繁殖の状況を把握しているか

問 独自に調査を行ったところ、市外の公園やグラウンドでも大量の発生を確認した。市内でも同様に、広範囲で確認しているが、繁殖の状況を把握しているのか。

確認を行った

市長 改めて市内の小中学校をはじめ、公共施設等における繁殖状況を確認したところ、市内の21小中学校のうち14校、また志布志運動公園周辺付近の松林内・鉄道記念公園・大浜緑地・松山道の駅・城山総合運動公園・児童広場・市立図書館での繁殖が確認されている。

教育長 しおかぜ公園、多目的広場、ふれあい広場では確認していないが、温水プール周辺の松林で確認。宇都鼻の農村グラウンドでも発生を確認し、フエン酸と塩で生成した溶剤を散布した。市内の14校で確認されているが部分的な繁殖であり、除草作

業を実施している。まだ確認されていない場所がたくさんあるのではないかと認識している。

今後の対策への取り組みをどう進めるのか

問 メリケントキンソウの種子の強度は、シャープペンシルの芯（直径0.3mm）とほぼ同程度で発芽率も高いようであるが、今後の対策をどう進めるのか。

対策協議会を設置し進める

市長 生態に関する共通認識を持ち、適期に効果的な駆除を行うために、関係する部署を網羅した横断的な体制整備に向けた撲滅対策協議会を設置し、市民への周知と除草駆除方法の検討及び実践を行い、撲滅目標年次を2019年と掲げる。

教育長 環境教育の視点から非常に大事であり、メリケントキンソウを環境教育のいい材料として扱いたい。



南アメリカ原産の外来植物であるメリケントキンソウ

自治会の道路清掃作業の安全対策は

問 自治会が行っている市道の道路清掃作業に対して、市は安全対策面への配慮義務と、事故発生時の補償義務が伴うと考えるが対策は。

三角コーンの貸し出しや民間保険加入を勧める

市長 安全対策面では、市が所有する三角コーン等の貸し出しを実施しつつ、自治会の意見等を踏まえて配慮していきたい。作業中のケガ等については市が加入している総合賠償保険や公民館の総合賠償制度では適用外となる場合があることから、各自治会へ民間等の傷害保険加入を勧めている。



丸山 議員

公の施設におけるアスベストの現状は

▼建物については使用されていない

体・改善工事等を発注する場合、石綿含有の使用状況の通知が必要となるがどうか。

事業者への周知を行う

市長 危険廃屋解体工事に関しても、事前調査の結果を現場に掲示するように周知していく。

入札不調の現状は

問 市の入札不調の状況はどうか。

9件であった

市長 平成24年度はゼロであったが、平成25年度は9件である。

改善策は

問 受注する会社の技術者、労働者、機材等が少なくなりスリム化してい

る。工期の見直しや早期発注に努力したらどうか。

事業の早期発注に努力する

市長 過去2年間の4月から6月の発注率は25.1%であるが、さらに努力する。

市道安楽中園線の道路改良は

問 市道安楽中園線は安楽小学校への通学路でもあるが、狭く危険である。道路改良の計画はないか。

利便性の確保をする

市長 交通量も増えつつあるので道路伐採の回数を増やし、張りコンクリート等による利便性の確保をする。

安楽土地改良区との協議は

問 安楽土地改良区の水路も老朽化しており、そ

の改修と市道、農道の改良はできないのか。

検討したい

建設課長 現地調査をしてガードレールの設置ができるか検討したい。

耕地林務水産課長 安楽土地改良区と現地調査を実施し検討したい。



市営住宅解体工事

丸山 一議員 建築基準法第12条では、定期的な点検・記録による管理を行うことが義務付けられているがアスベストの現状はどうか。

市長 市の管理する施設においては、アスベスト

問 平成26年6月1日より改正石綿障害予防規則が施行され、建築物の解



市道安楽中園線



東 議員

ふるさと納税寄附者に特産品の贈呈を

▶ 取り組む時期にきている

東 宏二議員 本市出身者や鹿児島県にゆかりのある方々からふるさと納税寄附が寄せられている。県内43市町村のうち26市町村で納税寄附された方々に特産品等を贈呈しているが、本市では市報1年分、お茶10gであり、志のまちを掲げている本市としては、お粗末ではないかと感じている。本市にも特産品等が多くあり宣伝にもなると思うが贈呈することはできないか。

市長 毎年多くの出身者や本市ゆかりのある方々からふるさと志布志に温かい志をいただいている。平成20年度から25年度までに246件、4607万118円で県内でも上位である。近隣のまちにおいても金額等に合わせお返しをしているようだ。本市では今までそのような配慮をしてこなかった。取り組むべき時期にきていると思う。



来年度
ふるさと納税
出来るよう
きばらんなら
綾小路きみまる

綾小路きみまるさんから、平成20年度より毎年寄附を頂いている

いつから取り組むのか
問 本年度には間に合わないと思うが、来年度から取り組むのか。

早い時期に取り組みたい

市長 時期については言えないが、早い時期に議会に相談したい。

グラウンドゴルフ専用場は28年度までに整備できるのか

問 グラウンドゴルフ専用場整備について、これまで2回質問してきた。スポーツ振興計画の中で協議をしていくとある。平成28年度に整備目標が設定されているが、事業化に向け取り組んでいくのか。

28年度を目標とする

市長 26年度において、スポーツ施設整備計画を立て、具体的な整備に取り組んでいく。グラウンドゴルフ愛好者、協会の意見を十分聞きながら、今年度に具体的な整備案



28年度を目標にグラウンドゴルフ専用場が整備される

を策定し、28年度を目標として整備をしていく。

教育長 本市のスポーツ振興計画に基づき利用者及び関係団体の意見を聞き、年次的に整備を進めていく。

整備予定地はどこか

問 前回の質問で志布志市体育館の東側市有地にと要望したが整備予定地はどこか。

志布志運動公園の範囲内

市長 基本的には志布志運動公園を中心とした範

囲の中で最も適した場所を考えている。

枇榔島の栈橋修復はできないか

問 平成23年度の台風で破損し、3年が経過した。本市のシンボルである枇榔島の栈橋修復はできないか。

現段階では厳しい

市長 栈橋を設置するとすると多額の予算が必要である。別途の漁業振興も考えなければならぬため現段階では厳しい。



本庁舎在り方検討委員会の取り組みは

▼早い時期に取り組みたい

他に
 ・地方教育行政法改正
 ・嘱託職員の待遇改善
 ・敬老祝金75才以上全員支給
 について質問した。



市役所本庁舎

小園 議員 3月議会で本庁舎在り方検討委員会の立ち上げは考えないかとの質問に、庁内で議論していないが近いうちに立ち上げたいとの答弁であった。その後の庁内での取り組みを問う。

市長 庁舎機能の位置や利用方式については、客観的及び多角的な見地からの意見集約が必要と考える。現在、庁舎の在り方に関し、どのような形で協議する場を設置するか、どのような資料が必

要かなど、先進事例における情報収集を含め調査研究をしている。できるだけ早い時期に検討会の設置に取り組みたい。

就学援助費の拡充は

問 就学援助費の問題をこれまで取り上げてきた。今回、国は要保護世帯に学級費、クラブ活動費、PTA会費の3つを支給するよう拡充したが、要保護世帯にも拡げていく考えはないか。

協議検討する

市長 県内各地の実施状況や支給項目及び支給額等について教育委員会と協議検討を重ねていきたい。

要望について

教育長 平成26年度当初

予算を編成するにあたり市長部局と協議し、給食費の値上げに伴う保護者負担増額分と新規項目として自転車購入費を計上した。3つの項目については引き続き要望していきたい。

みどり保育所民間移管への取り組みは

問 みどり保育所の民間移管の進め方については保護者の合意が得られることが大前提だと思っ。取り組みを問う。

内容を示し進める

市長 今年の5月15日に、保護者説明会を開催した。アンケート調査を実施し賛成多数であれば民間移管を進めてもよいとの合意をもらった。その結果、賛成多数となったので保護者会に文書で伝えた。

今後は民間移管に向けたスケジュールや公募の内容等について保護者に示し作業を進めていきたい。



松山町泰野にあるみどり保育所

議会運営委員会

平成26年5月19日～20日

議会運営委員会では、昨年12月定例会において可決された議会基本条例の施行に伴う活動状況を調査したので、結果を報告します。

○視察先・佐賀県鹿島市

鹿島市議会議員の議員定数は16人である。常任委員会は2委員会（総務建設環境、文教厚生産業）があり、任期は2年としている。各常任委員会の定数は8人。平成20年10月以降、議会運営委員会・企画委員会での調査検討を重ね、平成21年12月22日、鹿島市議会基本条例検討委員会を全議員で立上げ、平成22年9月27日鹿島市議会基本条例を施行。以降も、鹿島市議会運営等改革検討プロジェクトチームを発足し、継続して検討・見直しを行っていた。

○視察先・佐賀県鳥栖市

鳥栖市議会の議員定数は22人である。常任委員

会は3委員会で任期は2年とし、定数は、総務文教7人、建設経済8人、厚生7人となっている。平成23年12月21日に議会基本条例が施行され、その後も「議会改革検討会」を7人で構成し、さまざまな議会改革に取り組んでいた。

○調査事項

志布志市議会基本条例の具体的な推進のため調査事項を設定した。①議会報告会、②会派制導入、③政務活動費、④自由討議、⑤質問・反問の5点



鹿島市議会での事務調査

について、今後、志布志市議会において、どのような方法で実施していくべきか事例を調査し、参考とし最善の方法を調査・検討していく。

① 議会報告会及び各種団体意見交換会

議会報告会については、基本条例施行に伴い議会改革が形となって表れる行為である。今回の調査先も、手法は違うが、すでに開催している状況にあった。時期・方法・議員の対応等、今後の協議課題が多いが、今回の調査で寄せられた意見等を参考としながら、実施に関する規定を作り上げた。今後は、開催時期と場所等について協議を重ね、まずは、第1回の議会報告会を開催することを目標としたい。目標達成のために本委員会で熱心な議論を進め、全議員に方向性を示し理解を求め、合意形成を図る。

② 会派制導入の状況と活動状況

議員個々の認識で、良くも悪くもなる制度であるようだ。政策提言のための調査・研究集団として、政治理念は共有しても、数の優位で議会運営を断行するような集団では会派の存在意義が大きく損なわれる。また、会派制が導入されると、議会の諸構成にも影響がある。会派代表者会、議会運営委員会、全員協議会の連携、関連性が重要である。少数意見や少数会派が対等に議論可能な議会制民主主義のため、要綱等の議論を進めていく必要がある。

③ 政務活動費

必要性は十分認識するものの活用に至るには市民の理解と、その効果を議員個々の活動の中で示すことが必要である。また、政務活動費の使途については、それぞれの会派に経理担当者置き、事務局と共に、不明点や改正点について絶えず見直しを行う、今回の事例も大いに参考としたい。



鳥栖市議会での事務調査

いずれにしても、志布志市の基本条例には、今後の協議事項となっているので、引き続き慎重審議を重ねていく必要がある。

④ 議員間の自由討議

本会議での、議員間の討議については厳しい面がある。しかし、手始めとして、常任委員会の現状を少し前進させる方向で考えると整理し易いのではないかと。また、会派での調査・研究及び勉強会というものが議員同士の討議に大きな効果を発揮するのではなからうか。会派内の議論で終わらせず、委員会の場で議論を十分尽くし、合意形成で

されればベストである。合意に至らなくても、賛成、反対の立場を表すことで議会の活性化につながる。

⑤ 市長等からの質問・反問

市長等からの質問・反問については、議員の質問に対する、内容確認が多いようだ。議会運営上の観点からも、整備すべき事項が考えられる。まずは、議会としてどこまでの質問や反問を想定するのか、共通認識を持つ必要がある。

志布志市議会にとって議会改革元年となる今年、必要な項目について今回、事務調査を実施した。調査を通じ実感したが、議員全員による十分な議論、その中で賛否を問いつながら合意形成に向け努力することこそが今必要なことである。議会改革は必ずの義務である。同じ目的を目指し、今後の改革に取り組みたい。

FIFAワールドカップブラジル大会が開催され日本チームは、予選リーグを1分2敗で終えた。日本よりFIFAランキング上位3チームに対し良く戦ったと思う。鹿児島県出身の遠藤、大迫選手にご苦労様の拍手を送りたい。チームの成績は予選リーグで終わったが、それを応援していたサポーターの試合終了後の行動が全世界から称賛された。選手と一緒に戦ったあと、試合結果とは関係なくスタンドのごみを拾い「ゴールの後ろは俺たちの聖地」だと感謝し日本人のすばらしさとその思いを全世界に発信した。

それとは裏腹に戦後、全世界に戦争をしない国、平和な国づくりを世界に発信してきた日本の平和の力を壊してしまう集団的自衛権の行使容認を憲法の解釈で変え、「海外で戦争をする国日本」を世界に発信する安倍内閣は、サポーターたちの思いの発信のあり様と比べ真逆の方向にあり断じて認めるわけにはいかな

議員控室 「発信するちから」

小園 義行



本会議を傍聴される有明地区
民生委員・児童委員のみなさん



い。
現在、志布志市議会は議会基本条例の実行に向けて真剣に議論を進めている。
市民と共にある議会にするべく全員で力を合わせ、より良いものにするため努力をしたい。

どうぞ傍聴席へ 次回定例会は9月です

開会中は、本会議の様子をケーブルテレビの112チャンネルで生放送しています。また、当日の午後8時から録画再放送もあります。
是非ご覧ください。

- ◎ インターネットでもライブ中継を公開しています。
志布志市ホームページからご覧ください。(http://www.city.shibushi.lg.jp/) 志布志市トップページ≫志布志市議会≫議会中継≫議会中継(ライブ中継)へ



発行責任者

志布志市議会議長

上村

環

委員長 京子
副委員長 鶴迫 京子
市ケ谷 孝 栄作
青山 浩二
野村 広志
持留 忠義
西江 明
長岡 耕二
岩根 賢二

広報等調査
特別委員会

6月にブラジルでサッカーW杯が開催されました。普段より夜更かしして試合をご覧になった方も多いのではないのでしょうか。優勝候補国が次々と予選敗退する中、前評判の高くなかったコスタリカ代表が驚くような結果を残すなど、スポーツの難しさと面白さを再確認させられた大会でした。日本代表は残念ながら予選敗退となりましたが、優勝を目標に一生懸命プレイした選手たちの姿に皆さんも元気づけられたのではないのでしょうか。今年2月に新しい志布志市議会構成となつてからちょうど半年が経過しました。私達もサッカー日本代表に負けないように地元を盛り上げるべく、これからも市民の皆さんの目・耳・声を常に意識しながら、議員の責務を全うしていきたいと思えます。

編集後記

市ケ谷 孝

